

炊き出しボランティア通信

vol52

2011,9月

炊きだし 9月10日(土) 9:00 ~ 北仙台教会で準備 12:00 ~ 五橋公園

今日も暑い日。公園に集まった方は実質57人(女性2人)でした。本校からは8人のボランティア同好会1年生が参加しました。3年生から1年生へシフトしています。今回はもの静かな4人とお喋りで元気な4人というおもしろい組み合わせになりました。それなりにそれぞれに、ぼっとする暇もなく、よく働きました。



○初めての炊き出しだったが、他の人と協力してできてよかった。なかなかできることではないので、よい経験になったと思う。次の時にはもっと積極的に手伝いたいと思う。(1年)

○思ったより大変だったけど、たくさんの人と協力しながら炊き出しをして、ホームレスの方々も喜んでくれていたので本当によかったと思います。(1年)

○初めての参加で、最初とても不安でいっぱいだったけど、ちゃんと対応することができたと思う。また今回参加してみて、世の中の現実を少し知ることができたと思う。今後も参加してゆきたいと思う。(1年)

公園での炊き出しの前に、きょうは年に一度の「偲ぶ会」がお坊さんをお招きして営まれました。この一年の間に路上で亡くなった方たちを弔います。昨年一緒にお祈りをささげてくださったカトリックの司祭も亡くなったと聞いて驚きました。



○たくさんのホームレスの方たちにセット袋を渡すとき、「どのサイズがいいですか」と声をかけ、言われたサイズのをあげたら「ありがとう」と言われたのが、とても嬉しかったです。次回参加の時は今回よりも頑張りたいです。でも少しでもホームレスが減るとよいと思いました。(1年)



○積極的に手伝いができたと思います。セット品が足りなかったときはあせったけど最後はちゃんとみんなに渡せたからよかったです。次回も一生懸命頑張ります。(1年)

○今回初めての参加で、どんな人がいるのか正直不安で怖かったのですが、明るい人が多かったので安心して取り組みました。暑い日でとても大変でしたが、誰かのために役に立てたのはうれしかったです。(1年)



は〜い、頑張りました。

夜回り 9月7日(水)20:10~22:00

少し遅くなってから行くと、待っていたWさんから、Hさんが来られなくなったので追廻し方面も頼むと言われた。大分以前に1度Hさんに行ったことはあるが地理が不安だと伝えると、しばらくしてからSmさんと言う青年が同行することになってホッとした。彼は自分探しタイプの青年。医療関係の仕事をしていて現在休職中とのこと。いつものコースに追廻し方面と評定河原橋下が加わった。Smさんはそのコースに詳しいので安心だった。尚かつ、追廻し入り口付近道案内役が迎えに来てくれることになった。国際センター裏の人はいつもどおり。「10年以上も通っていて、いつもおやすみ中なので実はまだ一度も話したことがないんですよ。」という、Smさんが驚いた。センター表の公園は不在。

道を挟んで青葉山テニスコートへの道に自転車から降りたおじさんが一人立っていた。案内人だった。その自転車に後ろから車でゆっくりついて行った。ついて行けばテニスコート裏の集合所近くまで車を乗り入れることができた。とはいっても暗い道のうえ、迷路になっていた。「あっゴメン、ちょっと引き返して。一本間違えた。」…何しろ10人分の食糧類である。10人分の米袋・カセットボンベ・おにぎり・ゆで卵・蚊取り線香・炊き出し案内紙・希望者への味噌スープなど。昼間詳しく見たことはないが、追廻しの川沿いにコンパクトな小屋を建ててそれぞれのプライバシーを守る形で共同で暮らしていた。中にはコンピュータの一流の技術者も以前いたと聞いたことがある。人間関係がいやで辞めてしまったと言っていた。「今度の土曜の炊き出しは、偲ぶ会が先にありますのでお願いします。」

評定河原橋下には二人分置いてきてくれと言われた。案内のHmさんは手慣れた足取りで「段差を気をつけて下さい。ここはコンクリートに頭をぶつけますから気をつけて。」と言いながら、ひよいひよいと奥へ行った。声をかけると狭い空間におじさんはいた。「二人分ですね。」「はい、そうお願いします。」

西公園のOさんのいた陸橋下は、ビニールも何も既になかった。

Stさんは石のベンチに起き上がって待っていてくれた。